



標準施工要領書

【直貼用・単層／複合フローリング】



標準施工要領書 【直貼用・単層／複合フローリング】

施工前の準備

施工前の注意点

- ・製品の仕様(樹種、サイズ、塗装仕上など)、数量に間違いがないか確認をお願いします。
- ・製品に瑕疵がないか確認してください。
- ・保管の際は直射日光や雨が当たる場所は避けてください。また湿気を避けた場所で立てかけずに平置きにしてください。

使用する接着剤

- 推奨接着剤：コニシ(株) E350R(2液エポキシ樹脂接着剤)同等品
(株)オーシカ セレクティ EP72-F(2液エポキシ樹脂接着剤)同等品

※酢酸エマルジョン系の接着剤(白ボンド)は使用しないでください。

施工環境の確認

- ・冷暖房機器や換気システムからの風が床面に直接当たらないように注意してください。またストーブの周辺部ではフローリング材が過度に乾燥し不具合を起こす場合があります。フローリングにそのような使用環境が想定される場合は別途乾燥対策を行ってください。

下地の確認

- ・モルタル下地が十分に乾燥していることを確認してください。
- ・打設後、夏場は3週間程度、冬場は4週間程度の乾燥期間をとり、モルタルの含水率が10%以下であることを確認してください。
- ・表面の段差や凹凸は補修して表面を平滑にしてください。
- ・不陸(1mあたり3mm以上)がある場合は、セルフレベルリング材を使用してください。

施工の手順

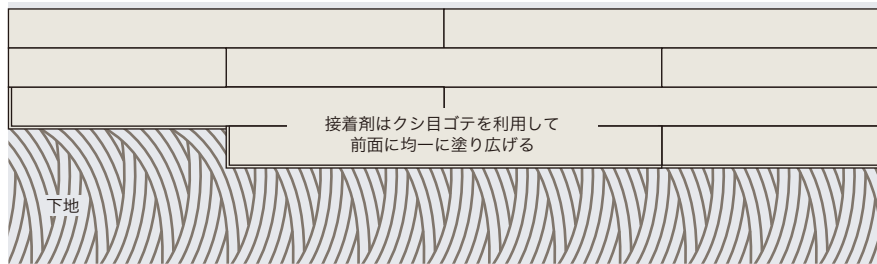
- ・施工の前に仮並べを行い、色合いのバランスを確認してください。またその際に製品瑕疵がないかの確認を行ってください。

■張り並べ方法：2液エポキシ樹脂接着剤(コニシ(株) E350R) 2液エポキシ樹脂接着剤((株)オーシカ セレクティ EP72-F)

- ・接着剤はクシ目ゴテを利用して全面に均一に塗り広げてください。【図1】
- ・クシ目ゴテは60°～90°の角度を保ってできるだけ一連の動作で塗り広げてください。一度塗り広げた部分を再度クシ目ゴテでこそがないでください。
- ・塗布量の目安は下記の通りです。

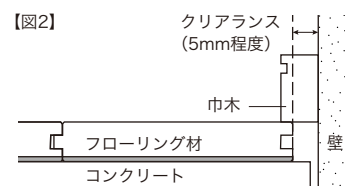
商品名	塗布量	貼り合わせ可能時間
コニシ E350R	500g程度/㎡ 全面塗り	夏：30分以内 冬：120分以内
オーシカ EP72-F	500g程度/㎡ 全面塗り	90分以内

【図1】

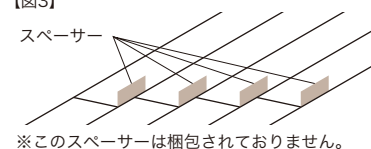


- ・ 壁際やサッシ、建具際は密着させないでください。
5～10mm程度のクリアランスの確保をお願いします。隙間は巾木や見切材料を使用して目立たないようにしてください。【図2】
- ・ 膨張による突き上げを防ぐため、スペーサーを使用してクリアランスを確保してください。(0.3～0.4mm程度)
スペーサーは500mm程度の間隔で入れ、当て木の上からゴムハンマーなどで軽く叩いて実をはめ込んでください。【図3】

【図2】



【図3】



施工後

- ・ 養生前に施工面をきれいに掃除し、木くずや建材の粉、小石、汚れなどを完全に除去してください。
また養生前には必ずフローリング表面に湿気が残っていないことを確認してください。
- ・ 施工後は養生マットを敷き詰めてください。その際にフローリング材が露出している部分がないように注意してください。日焼けなどにより変色の原因になります。ベニヤ板やブルーシートで養生するとフローリングを傷める場合がありますので注意してください。
※特に自然オイル塗装で仕上げられたフローリングは、養生を行う前にフローリング表面に湿気や水分がないことをよく確認したうえで必ず通気性のある養生材をご使用ください。自然オイル塗装品にブルーシートなどの通気性のない素材で養生を行うと水分等によりフローリング表面に白化現象が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ・ フローリング材に直接養生テープを貼ることはできません。
- ・ フローリングに塗布されている塗料によってクリーニング方法が異なります。事前に使用されている塗料を確認の上、正しく引渡し前のクリーニングを行ってください。木質系フローリングに過度の水分は大敵です。クリーニングには多くの水分を使わずに硬く絞った雑巾などをご使用ください。